

『中丹地域』って？

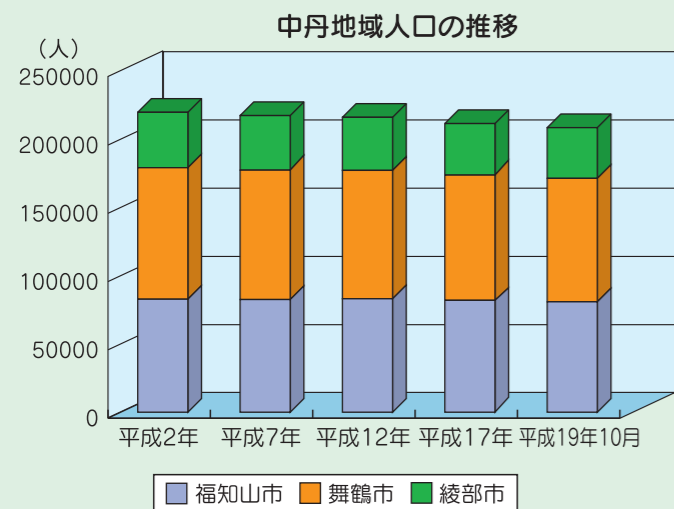
位置・地勢

中丹地域は、京都府の西北部に位置し、福知山市、舞鶴市、綾部市の3市からなり、福井県の嶺南地域や兵庫県の一部に隣接し、北は日本海に面し、地域のほぼ中央を一級河川の由良川が流れています。中丹地域の総面積は、1,242.82km²で、京都府の27%を占めています。



人口・世帯数

中丹地域の人口・世帯数は、208,473人（府全体の7.9%）、80,503世帯（府全体の7.3%）となっています。（平19.10.1現在推計人口から）
また、65歳以上の人口の割合は、約2.1%（府2.6%）増加し、地域人口の25.1%（府20.0%）を占めています。（国勢調査人口から）



資料 H19.10 推計人口 それ以外は国勢調査による

交通

中丹地域は、舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道、国道9号、27号、173号等の道路、JR山陰本線・福知山線・舞鶴線、北近畿タンゴ鉄道宮福線・宮津線といった鉄道が交差する交通の要衝です。

産業のすがた

平成17年の総生産額は、888,531百万円で府内の9.7%を占めています。
産業別では、第1次産業0.9%
第2次産業39.2%
第3次産業59.9%となっています。

林業

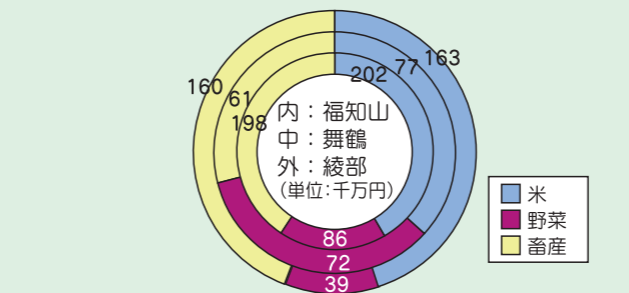
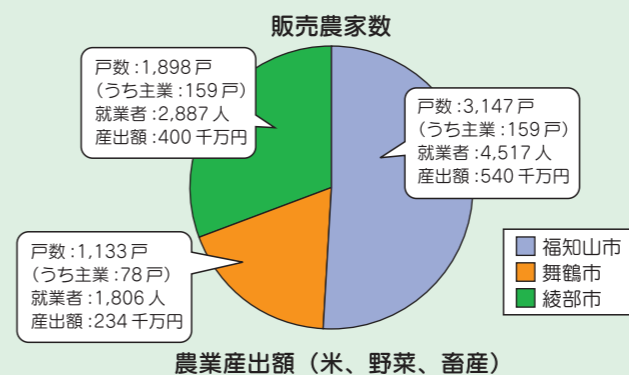
管内の森林面積は、95,749haで総面積の77%を占めています。民有林の43%は人工林で、府平均を上回っており、この人工林の69%が40年以上の林分で、森林資源は年々充実しつつあります。現在、森林によるCO₂吸収源対策等多面的機能を持続的に発揮していくため、計画的な間伐が実施され、今後は施業の集約化・効率化を進め、利用間伐の拡大を図っていくことが期待されます。

水産業

漁業地区別漁獲量では、舞鶴市が4,326tと京都府下で一番多く、全体の約3分の1を占めています。
トリガイやイワガキなど養殖のブランド化を進めています。
内水面漁業では、種苗（アユ・ウナギ・ハ工等）の放流により、資源保護、増殖に努めています。

農業

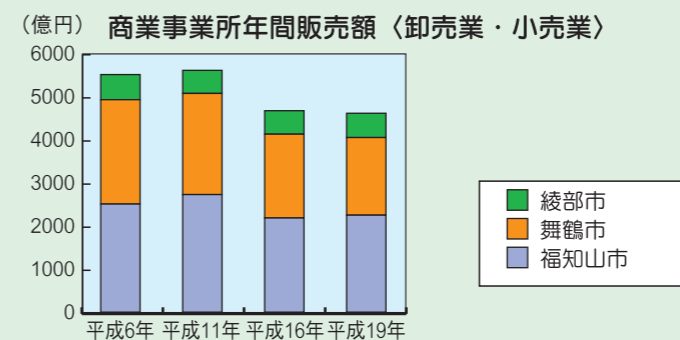
管内の農業は、稲作を中心に、野菜、茶等を組み合わせた複合経営や、畜産業が営まれています。販売農家の経営耕地面積は、約4,660haで、府内全体の約22%を占めていますが、1戸当たりの耕作面積は約75aで府平均の98aをやや下回っています。平成18年の農業産出額は約117億円で、府全体の16.5%を占め、このうち米が全体の約38%を占めています。
管内には、舞鶴市の「万願寺とうがらし」や福知山市の「紫ずきん」など、京都府を代表する「ブランド京野菜」が栽培されています。販売農家数は、6,178戸で、府全体の約25%を占めています。



資料：京都農林水産統計年報 平成18～19年から

商業

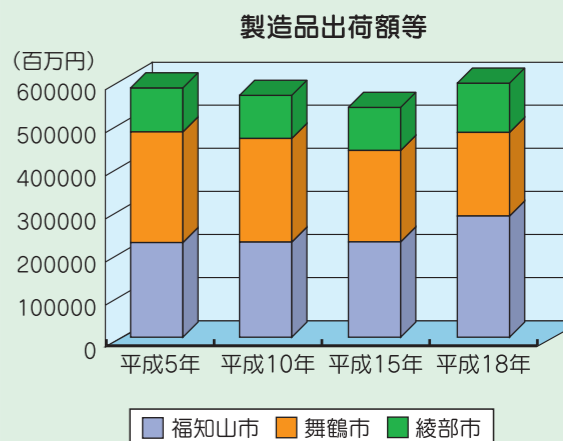
管内3市それぞれ鉄道駅近くの中心市街地（舞鶴市は東西両地区）に商店街が形成されています。また、店舗面積が1万平方メートルを超える大型店が、福知山市に2店舗、舞鶴市に2店舗立地しています。



資料：商業統計調査

工業

長田野工業団地、綾部工業団地等を中心に多くの製造業が立地し、地域産業の中心となっています。また、舞鶴市では、造船業、ガラス製造業等のリーディング企業を中心に機械金属加工業が集積しています。



資料：工業統計調査

貿易

京都舞鶴港は、外貿を中心とする西港及び北海道を結ぶ高速フェリーなど内貿を中心とする東港からなります。平成19年の貨物取扱量は946万トンで、その内訳は内貿714万トン、外貿では輸出30万トン、輸入202万トンで、圧倒的に輸入超過となっています。

観光

管内の平成19年の観光入込客数は2,794千人（対前年比6.4%増）でした。全国的に有名な観光施設は少ないものの、国定公園に新規指定（平成19年8月）された大江山、福知山城、舞鶴の赤れんが倉庫群、あやべ温泉など、3市それぞれに特徴ある観光資源があります。